

議会だより



沖縄県金武町

きんてん



金武町イメージキャラクター
金武タームくん

第154号

発行：平成30年9月7日



特産品シリーズ 甘みと旨味が凝縮された金武町産の絶品うなぎ（福花原養鰻場）

主な内容

- 一般質問 2～14P
伊藝菊博／吉野 潤／仲村広美／池原政文／大城一之／外間慎仁／伊藝直樹
伊藝高志／安富信武／前田健次／伊芸政男／仲間トム／崎浜秀幸
平成30年第4回（6月）定例会 15～18P
町村議会議員・事務局職員研修 他 19～20P

◆発行：金武町議会 ◆編集：議会広報調査特別委員会

〒904-1292 沖縄県国頭郡金武町字金武1番地 NTT098-968-2292 有線電話8-2292
金武町公式ホームページ <http://www.town.kin.okinawa.jp> 金武町議会メールアドレス gikai@town.kin.okinawa.jp

きんてん（均霑）とは…「^{ひと}均しく^{うるお}霑う」という意味で町民が等しく行政の恩恵を受けられるよう町民代表の議決機関の使命を踏まえて昭和55年の発行第1号の際に命名しました

平成 30 年第 4 回 (6 月) 定例会

一般質問

(※質問順に掲載し、質問・答弁は要約)



伊藝 菊博 議員

交通渋滞緩和

伊藝議員 町民、金武中学校生徒の生活に非常に支障を来しているが。

仲間一 町長 内閣官房長官へ沖縄自動車道金武インターチェンジの出入口付近から直接キャンプ・ハンセンにアクセスする道路整備と国道の 4 車線化を要請した。

伊藝議員 中学校の授業時間を変更するとかできないのか。

知念久 学校教育課長 バ

ス遅延時、ホームルームには間に合わないが、授業の開始時刻には間に合うので、変更の予定はない。

伊藝議員 伊芸区内、屋嘉区内は抜け道として使用されている。非常に危険な状態だがその対策は。

町長 運転手へ注意を呼びかける看板、停止線、ハン

伊藝議員 夕方、屋嘉区小浜原の渋滞は、屋嘉区町道 62 号線の信号が原因では。

町長 信号機を時差式信号機から感知式に変更するよう要請していく。

伊藝議員 北部国道事務所と交通渋滞について話し合

町長 6 月 4 日、沖縄総合事務局開発建設部と国土交

通行政に関する懇談会で 4 車線化と県道 104 号沿い



屋嘉区小浜原の時差式信号機

キャン・ハンセン第 3 ゲート付近のスマートインター整備の早期実現に向け要請を行っている。

伊藝議員 早期にできる対策はあるか。

町長 区のマイクロバスを委託して、学校の前まで連れていく考え方も早期に考えればあり得る。

もう一つは中学校に、子ども達のための寮を作る方法もあると考えられる。

防災・減災対策

伊藝議員 沖縄県広域地震・津波避難訓練の参加者状況と課題は。

町長 平成 24 年度 3 2 3 8 人、25 年度 2 9 3 7 人、26 年度 2 5 3 2 人、27 年度 2 9 9 4 人、28 年度 3 2 2 8 人、29 年度 3 2 2 4 人である。

課題は、避難場所や避難所への避難経路の整備や誘導標識等がある。

伊藝議員 避難場所への誘導灯は整備されているか。

町長 誘導灯は設置されていないが、津波避難場所への誘導標識は設置している。

伊藝議員 避難場所に備蓄品はあるか。

町長 各区の避難場所にはないが、保健福祉センターと中央公民館には備蓄品がある。

伊藝議員 避難場所へ備蓄品倉庫を設置する予定は。

町長 整備できるよう関係機関と調整をしていく。

伊藝議員 民生委員が調査した要援護者台帳は継続して行われているか。

町長 要援護者台帳の作成は、平成 23 年度から平成 24 年度にかけて民生委員に調査を依頼し作成している。対象は自らの行動により安全を確保することが困難で

他者の支援を必要とする障害者・高齢者などで、名簿作成に同意した方を登録している。平成 27 年度にも民生委員に再度調査を依頼し見直しを図っており、定期的にデータを更新し台帳を管理している。



津波避難場所への誘導標識

観光振興



吉野 潤 議員

吉野議員 観光協会の今後の活動方針は。

仲間一町長 活気あふれる産業のまちづくりに向け、

町と連携した観光業の振興、発展を目指す。観光物産展やイベント等の収益事業の充実を図る。

吉野議員 観光協会と連携

して※SNSで町の観光情報の発信に取り組む考えはないか。

町長 観光情報や景観スポット等の情報を整理し、積極的な情報発信を行い、誘客に努めていく。

吉野議員 観光協会独自のホームページは。

安富祖勸 商工観光課長

独自のホームページではなく町の観光ポータルサイトの活用を金武町観光協会と連携して運用していきたい。



観光ポータルサイト

吉野議員 芸能人の撮影がある場合、問い合わせはあるか。

商工観光課長 年に数回は問い合わせがある。

吉野議員 観光大使設置の考えは。

町長 本町の魅力を最大限発信できる観光大使の設置を予定している。

麻疹（はしか）対策

吉野議員 町内で発病者は出たか。

町長 3名確認されている。

吉野議員 発生後の町の対応は。

町長 定期予防接種対象者以外の方へ接種を開始した。

吉野議員 周知方法は。

町長 有線放送、ホームページ、LINE等で、予防接種を周知した。

吉野議員 保育士や学校の先生は勧奨接種を受けたか。

町長 児童・生徒及び保育士、教員等への接種歴の把握と、未接種者へ接種を勧奨した。

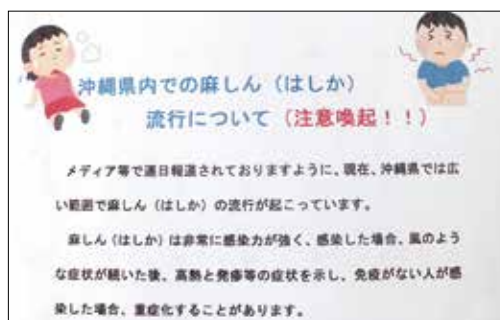
吉野議員 観光客やイベントなどへの影響は。

町長 社会福祉協議会主催のこいのぼり掲揚式が中止となった。また、ネイチャーみらい館で、県外中学校修学旅行客186名のキャンセルがあった。

吉野議員 たんばフェスタの影響は。

安富祖勸 商工観光課長

予定どおり実施したが、注意喚起を促す看板を設置して対応を行った。



注意喚起を促す看板

学校給食における食の安全対策

吉野議員 給食への異物などの混入は。

比嘉貴一 教育長 平成27年度2件、28年度4件、29年度2件あった。内容は、ビニール片3件、虫3件、金属片2件である。

原因は、給食センターの人為的なものが3件、機械の劣化等によるものが2件、納入業者によるものが3件となっている。

吉野議員 食中毒等の対策は。

教育長 調理員の健康診断や毎月の検便を実施、作業前に手指の洗浄消毒を行っている。まな板などの調理器具は用途別に使用し、その後は殺菌・洗浄・乾燥後、専用保管庫に保管して衛生管理に努めている。

※SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）人と人のつながりを促進・サポートするコミュニケーション型の会員制サービス



仲村 広美 議員

資源ごみ ペットボトル回収

仲村議員 ペットボトル回収を安価な袋に変える考えは。

仲間一 町長 透明のビニール袋へ変更していく。

仲村議員 周知は。

儀間権 住民生活課長 広

報金武、LINE、フェイスブック等に掲載して早目に周知を図る。

仲村議員 いつ頃から実施するのか。

住民生活課長 年度内とかではなく、すぐ進めていく方向で考えている。

(平成30年7月1日実施)

中央公民館、消防署出入口

仲村議員 公民館、消防署の出入り口は、公民館側からの停止線のみ引かれている。救急車・消防車等の緊急時の出入り口として、駐車禁止区域の表示をすべきだと思うが町の考えは。

町長 金武地区消防衛生組合と調整し、駐停車禁止のエリアを設定、当該区域の安全な交通を確保し、緊急車両への影響が出ないように取り組んでいく。

仲村議員 駐車禁止のエリアに斜め線を入れる等の考えは。

町長 金武地区消防衛生組合と確認をし、検討していく。

仲村議員 消防の出入り口と中央公民館が一緒にあるということは問題視されているが。

比嘉貴一 教育長 中央公民館側から国道に出る際、



駐停車線禁止エリアがない消防署前

停止線があり、中央公民館側が優先に感じるところがある。消防組合出入り口の手前で停止すると感知式のセンサーが反応せず、いつまでも信号が変わらない。そういう状況を見直して、安心安全に通れるような形にしたいというふうに考えている。

倉庫群施設

仲村議員 移設される倉庫群や施設は。

町長 キャンプ瑞慶覧施設技術部地区からコミュニティサービス庁舎等の管理事務所、整備工場、倉庫等、キャンプ瑞慶覧インダストリアル・コリドー地区からリサイクルセンター等の管理事務所、車両整備工場、倉庫等、キャンプ・キンザー牧港補給地区から倉庫群等の司令部、管理事務所、車両整備工場、倉庫、給食センター等の後方支援施設である。

仲村議員 この施設を視察したことはあるか。

町長 各区財産管理会の会長・副会長と一緒に、瑞慶覧とキンザーを確認している。

仲村議員 議員も視察に行けるのか。

町長 視察の日程は調整中

である。

仲村議員 町内優先雇用を考えてほしいが。

町長 欠員が出た時は町内優先してもらえようように司令官に話をしている。

仲村議員 クラブハウスが完成したことで中央公民館の駐車場が少なくなっている。体育館近くの米軍敷地を共同駐車場にする要請はできないか。

町長 一部返還や共同使用できるように申請していく。



池原 政文 議員

嘉手納以南の米軍施設 返還統合計画の受け入れ

池原議員 町民生活に及ぼす影響はどのようなことが想定されるか。

仲間一 町長 施設が移設

することにより、施設整備に係る工事車両や基地従業員の通勤に係る車両の増加が予想され、交通渋滞等による住民生活への影響が懸念される。

池原議員 町民への説明会等どう考えているか。

町長 施設の移設計画から受け入れまでの経緯等については、各区行政懇談会や広報金武を活用して説明し、周知していく。



ゆんたく市場付近 (午前8時15分頃)

池原議員 交通渋滞が一番懸念されているが、国道4車線整備の考えはないか。

金城司 企画課長 4車線

は交通量による基準がありそれを上回ることので4車線化となる。朝は一時的な時間帯だが基準をクリアしている。

池原議員 国道3車線の考

えもあるか。

町長 3車線の案も話し合っている。

伊芸地区水田かんがい 排水事業

池原議員 平成30年度に事業を実施していく考えか。

町長 平成31年度予算の概算要求を沖縄防衛局に行っている。

池原議員 親田原耕作道の整備計画との調整は。

町長 地権者の同意が得られず未整備部分がある。伊芸地区水田かんがい排水事業と時期を合わせて整備できれば耕作への影響が軽減できるため、区と連携して地権者から同意がもらえるよう取り組んでいく。

池原議員 伊芸区や受益者と維持管理面などの協議は。

町長 事業説明会を2回実施している。その際、維持管理は区で行う前提で水使用料、維持管理について協議を行った。

池原議員 親田原耕作道は

乾土だが、水が貯まった時、河川に掃き出す方法は。

糸村昌敏 農林水産課長

既設の排水溝を活用して処理をしていく。

池原議員 説明会は地権者に対してなのか、受益者なのか。

農林水産課長 耕作者と区に説明会を行っている。



伊芸区親田原の水田

障がい者福祉政策

池原議員 65歳以上と障がい者の過去3年間の相談件数及び実施件数の状況は。

町長 障がい者が平成27年度相談件数、実施件数ともに実績なし。28年度相談件数1件、実施件数は0件。29年度相談件数は1件、実施件数0件。

高齢者は、平成27年度相談件数5件、実施件数が5件。28年度相談件数が4件、実施件数3件。29年度相談件数、実施件数ともに実績なし。



大城 一之 議員

嘉手納以南総合計画

大城議員 移設時期はいつか。

仲間一 町長 キャンプ瑞慶覧の倉庫地区がおおむね平成31年返還、キャンプ瑞慶覧インダストリアル・コリドー地区がおおむね36年の返還、キャンプ・キンザー牧港補給地区はおおむね37年の返還計画であり、その前にキャンプ・ハンセンへ移設される施設の整備が完了する見込み。

大城議員 規模と町に及ぼす影響は。

町長 マスタープランでは、キャンプ瑞慶覧とキャンプ・キンザーからキャン

プ・ハンセンに新たな約30棟の施設が移設され、施設の再配置による既存施設の建て替えを含め、約100棟の施設が整備される計画が示されている。

大城議員 官房長官に求めた地域が抱える課題解決、振興発展について国の特段の配慮は。

町長 要望事項として

○防災機能等を備えた役場庁舎「金武町複合庁舎」建設事業。

○キャンプ・ハンセンから沖縄自動車道入り口付近へ直結するアクセス道路の新設。

○キャンプ・ハンセン内再編関連工事の町内業者優先活用。

○キャンプ・ハンセンにおける町民の優先雇用。

○金武レッド・ビーチ訓練場の港湾指定。

○うるま市から金武町区間国道329号の4車線化。



インダストリアル・コリドー地区

○キャンプ・ハンセンに関する3町村連絡協議会と内閣官房長官との意見交換の開催を要請している。

大城議員 最近の飛行訓練騒音問題はひどい。町民に対する対策として防音工事の助成はできないのか。

金城司 企画課長 一般住宅が補助対象となる騒音の被害がないということ、補助制度の対象にはならない。

町内行事のSNS広報

大城議員 町民のSNSの利用状況は。

町長

町民だけの特定はできないが6月5日現在、フェイスブックが4348人、LINEが3965人、ツイッターが1961人登録している状況である。

大城議員 SNSを利用している広報の現状は。

町長 住民健診や各種イベント等の町の行事、台風情報等をフェイスブック、LINE、ツイッターに掲載している。

大城議員 今後の利用拡大は。

町長 「広報金武」にフェイスブックのQRコードを掲載しているが、多くの町民に登録してもらえないよう記事を工夫し、町のホームページにもSNSの登録について記事を掲載していく。

大城議員 教育部門が少ないが教育関係は。

比嘉貴一 教育長 教育委員会には「くくむ」という紙ベースの広報紙がある。またイベントをする際には、マスコミにニュースリリースをしている。

大城議員 SNSを管理しているのはどの課か。

安富祖昇 総務課長 総務課で管理している。

大城議員 ツイッターでの情報発信はしないのか。

総務課長 ツイッターを通しての情報発信の研修ができるか考えていく。



LINEによる情報発信

※ツイッターとは
利用者は140文字以内の「ツイート(つぶやき)」を投稿し、複数の利用者と会話のようなコミュニケーションをとることができる。

子育て支援の拡充



外間 慎仁 議員

外間議員 町の待機児童数と対策、取り組みは。

仲間一町長 平成30年4

月現在、公立・私立こども園、保育所、小規模保育施設10施設となり就学前児童を受け入れる環境づくりが整備された結果、待機児童は0となっている。

外間議員 保育士の処遇改善の取り組み状況は。

町長 私立園に対し、経験年数や研修受講修了者等を対象に月額5000円から4万円の処遇改善を実施している。公立園は対象外となっている。

外間議員 保育士不足対策



こども園で働く保育士

は。

町長 本年度から公立園は報酬月額に経験年数、取得技能に応じた加算制度を設けている。内容は、3年以上の現場経験者を有する保育教諭に対し月額8000円を加算、乳児保育や幼児教育、障がい児保育など9分野のキャリアアップ研修修了者に対し、1分野につき月額2000円の加算を適用している。

キャンプ・ハンセンへの
倉庫群受け入れ

外間議員 現在、キャンプ・ハンセンの町内雇用はどれくらいか。

町長 日本人雇用が650

名で、金武町に住所を有する者が111名、約18%である。

外間議員 町外から雇用が増えると渋滞を引き起こす。町民の生活に影響が出ると考えるが町の対策は。

町長 市街地を通らずインターチェンジから直接米軍



牧港補給地区

基地に入ることや国道4車線化が早期実現できるように訴えていきたい。

外間議員 要望事項は町当局だけではなく議会として動くべきだと考えているが。

町長 議会の方でも要望ができるのであればぜひお願いしていきたい。

外間議員 複合庁舎建設事業もしつかり国の方に訴えてもらいたい。

町長 防衛省からやるとの返事をもらっている。あとは内部で敷地選定委員会、建設委員会を設置して備えていきたい。

若者の定住促進の施策

外間議員 若者の定住促進の施策、取り組み内容は。

町長 雇用の場の創出として金武町空き店舗対策事業やギンバル訓練場跡地への企業の誘致、町民の雇用の拡大と人材育成を目的とし

た金武町就活支援センターの設置などを行っている。

金武町就活支援センターの平成29年度実績としましては、利用者数が402人、就業者数が32名となっている。

また、町民が安心して結婚、子育てできる環境の創出として、こども医療費助成の18歳までの対象年齢拡充や待機児童の解消、給食費の無償化など子育て世代への支援も行っている。

外間議員 特に中川地区は若者定住促進が必要だが、中川団地を建設するに当たり募集の内容は。

儀間権 住民生活課長 これから選定委員会の方で入居優先の話をしていく。

農業・畜産産業



伊藝 直樹 議員

伊藝議員 田芋の加工品の種類と年間の加工量は。

仲間一 町長 金武町特産品加工センターで販売している田芋のパイ、コロツケ、田楽、ウムクジ、空揚げ、ペーストの6種類で年間加工量は約40トンとなっている。その他、町が把握している町内店舗で取り扱っている田芋の加工品の種類は、シュークリーム、チーズケーキ、まんじゅう、プリン、ミルクティー、焼酎など15種類以上となっており、年間の加工量は約1トンとなっている。

伊藝議員 加工している農

家の戸数は。

糸村昌敏 農林水産課長

2件把握している。

伊藝議員 田芋を使った新商品の開発予定はあるのか。

町長 6次産業化を推進する中で、町内店舗等と連携し新商品の開発に取り組み、田芋の消費拡大を図っている。

伊藝議員 金武町の田芋料理の本があるか。

農林水産課長 農林水産課の方で取り扱っている。

伊藝議員 パンフレットを作成し産業まつりで配布してみているか。

農林水産課長 PRのために配布できるように考える。

伊藝議員 ヤギ農家の戸数、飼養頭数は。

町長 平成29年12月時点で飼養戸数23戸、頭数215頭である。

伊藝議員 多く飼っている農家は何頭か。

農林水産課長 約50頭飼っている。

伊藝議員 ヤギの競りは年何回か。

ている。

伊藝議員 ヤギの競りは年何回か。

農林水産課長 南部市場で年に6回、今帰仁の市場で年に4回行われている。

伊藝議員 家畜競りは町内のヤギ農家も結構頻繁に利用しているか。

農林水産課長 平成29年度は、6名が競りに出品している。

伊藝議員 ヤギの単価は。

農林水産課長 平均単価は、5万6160円である。



町内で飼育されているヤギ

金武ダム

伊藝議員 管理棟の資料館、展望台を魅力のあるように整備できないか。

町長 当資料館と展望台は地域行事やサークル活動の他、多目的に利用することが可能なことからダムツーリズムなどの観光資源としても活用を検討し、金武ダム管理支所と連携を図っていく。

伊藝議員 年間の利用者数は何人か。

町長 年間の利用者数は、平成26年4969名、27年1万2863名、28年1万4931名、29年2万916名、30年は5月末現在で9883人となっている。

伊藝議員 水遊びができる施設はあるか。

金城司 企画課長 ダムの近くにせせらぎ公園を設置している。そこで水遊びができる環境は整備している。

伊藝議員 ダム敷地内に遊具の設置、水遊びができるように整備できないか。

町長 利用者の増加に伴い、遊具の設置等の環境整備の必要性も増してきていると考えられることから、北部ダム統合管理事務所との行政懇談会などで要望している。



金武ダムのせせらぎ公園



伊藝 高志 議員

キャンプ・ハンセン 倉庫群受け入れ

伊藝議員 移設受け入れについての打診があったのはいつか。

仲間一町長 平成29年5月19日に内閣官房長官と面談し移設の受け入れを容認している。

伊藝議員 倉庫や工場を受け入れたとしても演習等まで広がらないか。

町長 この移設計画は騒音や山火事の要因となる演習等の訓練に係る移設整備ではなく、倉庫や整備工場等の後方支援施設がキャンプ・ハンセン内に整備されるものであり、基地として

使用される面積や規模及び訓練が拡張されるものではない。

伊藝議員 中南部の移設跡地は発展し、移設受け入れ地との格差は広がるばかりである。町として大きな財源である軍用地料に移設で生じる差額を反映させるべきではないか。

町長 県内では返還される基地の跡地利用による振興策が関心を集めているが、町も振興発展していかねければならいと考えており、国に対し町の振興発展に係る施策を要望すると共に軍用地料においても金武町軍用地地主会と一緒に賃借料の増額等に関する要請を実施していく。

町民の健康対策

伊藝議員 町民の健康診断の状況は。

町長 特定健診受診率の状況は、国の目標値60%に対して町は40%である。

伊藝議員 健康に関する指導はしているか。

町長 保健師、管理栄養士による継続した個別指導プログラムを6カ月間実施し評価を行っている。

伊藝議員 婦人会や各種団体との連携は。

町長 商工会と連携をし、町内事業所等への訪問指導等を実施している。

伊藝議員 こども園、学校等での指導はしているか。

町長 乳児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診がある。

幼稚園、小学校、中学校及び高校生については学校保健安全法により学校での児童・生徒の健康診断が義

務づけられている。

伊藝議員 今後の課題は。

町長 透析患者数の6割が糖尿病を原因とした糖尿病性腎症が占めており、年々増加傾向にあることから糖尿病の重症化予防を重点課題と考えている。

糖尿病の治療者、治療中断者の割合が県内でも上位にあるため町内医療機関と対象者支援の連携を図り、重症化予防へ向けた体制づくりに努めていく。



総合保健福祉センターで行われた住民健診

少雨による水対策

伊藝議員 現在の町の状況は。

町長 6月6日時点の農業用水の貯水率は金武ダム30%、喜瀬武原ダム80%、屋嘉第1貯水池67%、屋嘉第2貯水池70%、小浜第1貯水池100%、小浜第2貯水池100%である。

伊藝議員 今後の見通しは。

町長 気象情報を注視しながら貯水池の状況を常に確認し町内で取水できそうな河川、泉などの調査も行いながら農業用水の確保に取り組んでいく。



安富 信武 議員

沖縄米軍基地返還計画

安富議員 町民の負担に見合う福祉、補償の交付金は、

仲間一 町長 国有提供施設等所在市町村助成交付金と、施設等所在市町村調整交付金及び再編交付金が町

に対して交付されることになる。

安富議員 物量の増大に伴い港湾の機能の対応は、

町長 金武レッド・ビーチの訓練場の利用及び移設に伴う使用に関しては移設計画には含まれていない。

現在は「訓練場」として指定されているが実際は兵員や物資の積みおろしなど「港湾」として運用されて



新開地に設置した防犯カメラ

いる実績があり、町としては防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第9条第1項第3号の「港湾」として指定するように要請している。

安富議員 町内全域を対象にして防犯カメラの設置する考えはないか。

安富祖昇 総務課長 平成29年に22基を設置している。学校周辺、公園に設置しており、その状況を見て今後

のことについて考えていく。

安富議員 米兵の20時以降の民間地域への立ち入り禁止、夜間徘徊の防止等を提案する考えがあるか。

町長 軍人としてアメリカ合衆国国民として規律を

ちゃんと守るように徹底した指導をしていくと司令官から話があった。

温泉施設

安富議員 応募状況及び契約の可能性は。

町長 これまで2回の公募を実施してきた。

1回目の公募は2社の応募があったが、該当者なし、2回目の公募も5社の応募があったが該当者なしとなった。

その後1回目と2回目の公募に参加したグループ1社から、改めてグループ体制の再編成、施設整備、運営管理等を充実させた個別の提案を受けて金武町ギンバル温泉施設運営事業者選

定委員会において精査した結果、施設整備内容、事業実績、採算性、雇用計画等事業実現性が高かったため

運営候補者の選定に至っている。

財産の貸し付けに係る契約は今定例会において議案を提出しており可決された後に事業用定期借地権設定契約を締結することとしている。

安富議員 応募会社の運営形態は。

町長 アイロムPMはメ

ディカルサポート事業を主に不動産業やコンサルティング等を行っている会社である。

レンブラントホールディングスは、ホテルや温泉の運営の管理やコンサルティング等を行っている会社である。

さくらコーポレーションは、アイロムグループの開発事業やコンサルティング

に関わっている会社となっている。

安富議員 投資能力の判定基準は。

町長 3社から3年分の財務諸表や企業調査を専門業者に通して行った結果、良好と判断した。

安富議員 契約条件は。

安富祖勸 商工観光課長 契約期間を30年間で、賃貸

借料を1平方メートル当たり150円、年額191万4300円となるが、10年間は免除するという契約になっている。

安富議員 1平方メートル当たり150円の基準は。

商工観光課長 マレーシアの企業と契約しているもので、最大の単価が150円から200円という契約内容になっており、それを参考に150円の設定をしている。



前田 健次 議員

倉庫群・工場・施設等の キャンプ・ハンセン移設

前田議員 具体的な貯蔵品目というのは確認されているのか。

金城司 企画課長 倉庫群、車両整備工場等の移設ということの報告がある。

今後、施設を視察しに行く予定であり、その時に細かい内容等を確認したい。

前田議員 燃料の貯留施設の移転はないのか。

池原均 副町長 現時点で燃料施設の計画は聞いていない。

前田議員 危険薬品、危険物資等はないか。

副町長 この移設計画にお

いて薬品を取り扱うということは聞いていない。

有害物質に関しては日米地位協定及び環境補足協定の中で仮に使われたとしたとしても、安全に取り扱われることになっている。もし流出した場合の対処法については速やかに対処するということになっている。

はしか感染対策

前田議員 予防接種率の現状は。

仲間一 町長 小学校1年生から中学校3年生の年齢

別のはしか予防接種率の平均は90・2%となっている。

前田議員 接種補助は。

町長 昭和52年以降に生まれた生後6カ月以上の人で

はしかの1期、2期の未接種者を対象としている。19歳未満については約1万円を全額助成、19歳から41歳については10000円の自己負担で接種できるよう費

用負担の軽減を図っている。

前田議員 観光業界や飲食店従業員へのワクチン接種の費用補助などの対策は。

町長 職種に限らず補助の対象年齢となる町民が接種補助を受けることができる体制となっている。

前田議員 ネイチャーみらい館や飲食店従業員、施設等への指導等は。

島袋博 保健福祉課長 今回の補助は町民が対象という事になっているので事業所に指導したということではなく、対象になる方には予防接種をしっかりとして対策をしてほしいということとで周知に努めた。

麻しん(はしか)・風しんの任意予防接種の助成

接種費用 11,523 円

対象年齢	自己負担額	助成額
2歳～19歳未満	なし	11,523円
19歳以上～昭和52年生まれ	1,000円	10,523円

温泉施設

前田議員 入湯税の課税は考えているか。

町長 地方税法に「鉱泉浴場所在の市町村は環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設及び消防施設その他消防活動に必要な施設の整備並びに観光の振興に要する費

用に充てるため鉱泉浴場における入湯に対し入湯客に入湯税を課するものとする」と定められている。

前田議員 税率は。

町長 入湯税の税率は地方税法に基づき「入湯客1人1日について、150円を標準とするものとする」となっており、150円に設定予定である。

前田議員 町民に対して特別入湯料金の設定は。

町長 一般客よりも安価な料金設定で計画しており、入湯税を含んだ料金で一般客が1000円、町民が800円、ホテル宿泊者が600円となっている。

前田議員 雇用効果見込は。

安富祖勸 商工観光課長 80名から100名の雇用計画である。

前田議員 保健福祉センターの浴場は。

商工観光課長 保健福祉センターの浴場は廃止になる。



伊芸 政男 議員

国道329号の渋滞緩和

伊芸議員 朝夕の通勤、通学、帰宅時に町内で慢性的な交通渋滞が続いているが、その対策は。

仲間一町長 町内外からの通勤・通学者や沖縄自動車道を利用し通勤するキャンプ・ハンセン関係者等の車両が大きな要因の1つになっている。

早期の渋滞緩和を図るための対策として5月2日の「北部地域の道路網の整備促進並びに離島架橋の早期実現に向けた決起大会」で国道のうるま市以北の4車線化、県道104号線沿いキャンプ・ハンセン第3

ゲート付近のスマートインター整備について要請している。

伊芸議員 バス等を利用して通学している生徒には少なくとも影響は出ていると考えるが学校はどのような対策をとっているか。

比嘉貴一 教育長 交通渋滞による路線バスの到着時刻の遅延によって中学校では登校時刻に間に合わない生徒が増えるなどの影響が昨年の2学期頃から見られるようになった。

路線バスが定刻どおりに運行している場合、時間に余裕を持って登校できる運行本数は2本あるが、中学校では始発の路線バスの利用を推奨しており、昨年度までこのバスに乗りしても間に合わない場合は遅刻の取り扱いをしないこととしてきた。

また、今年度に入ってから2本目のバスを乗車し

た場合でもバス会社に運行の遅延を確認した上で遅刻の取り扱いをしないこととしている。



1便目のバスで登校する中学生

交通安全対策

伊芸議員 夕方の帰宅時に国道329号の屋嘉からうるま市向けに交通渋滞が起きている。これを避けるため、ゴールデン・サン・ビーチホテル付近の農道を通り、集落内の町道屋嘉14号線を通過する車両が増加している。そのため、屋嘉42号線との交差点で交通事故がたびたび発生している。早急に対策すべきと考えるが。

町長 町道屋嘉14号線と屋嘉42号線の交差点の交通事故は接触事故が最近3年間で5件あった。この交差点に2基のカーブミラーを設置しているが交通量を考慮に入れると注意喚起の看板や停止線、ハンプの設置について検討し、交通安全対策に取り組んでいく。



町道屋嘉 14 号線と 42 号線の交差点

伊芸議員 停止線の表示はされているが、外国人もいるので「STOP」の表示看板が必要では。

町長 注意喚起の看板は英語版も含めて必要かと考えている。



仲間 トム 議員

米軍再編に伴う キャンプ・ハンセンへの 倉庫群受け入れ

仲間議員 返還に伴う工事は現在ハンセン内で行われているか。

金城司企画課長 平成26

年度に移設受け入れ表明したキャンプ瑞慶覧の施設技術部地区、白比川地区からの倉庫、整備工場等の移設工事は現在行われている。

仲間議員 どの区域で行われているか。

企画課長 渡慶頭原地域、山田牧場の裏の方になる。

仲間議員 完成はいつ頃か。

企画課長 キャンプ瑞慶覧倉庫地区がおおむね平成31

年の返還となっている。その前に移設されることになるので遅くとも31年度中には施設が完成すると考えている。

仲間議員 すべての完成はいつになるのか。

企画課長 37年度には工事が完了されるという見通しである。

仲間議員 多くの施設が完成した際に大量のごみも出ると思うが、現在米軍基地からのごみ問題はどうなっているか。

仲間一 町長 米軍のごみ処理は金武地区消防衛生組合では扱っていない。全て米軍関連で民間業者に委託して民間業者が収集している。

仲間議員 再編計画の中にごみ処理施設も含まれているか。

企画課長 再編計画には入っていない。

仲間議員 基地への水道供

給のため町が影響を受ける可能性は。

町長 キャンプ・ハンセンへの供給が増えることは確実であり上下水道課中心にして今調査をさせている。

仲間議員 レッド・ビーチへの船舶の入港は定期的なものか、あるいは必要に応じての入港か。

企画課長 年に数回船が入ってくるが、不定期でこちらでは把握できていない。

仲間議員 今後はレッド・ビーチの入港が増える可能性はあるか。

企画課長 再編計画に伴ってレッド・ビーチに寄港する回数増加が予想される。

仲間議員 増える可能性があると車両の往来が増すと想定されるか。

企画課長 かねひでの横を通る軍用道路があるがその道路を通ることが予想される。

危険性があると判断した

場合は、信号の設置も含めて考えていきたい。



レッド・ビーチ軍用道路

仲間議員 金武湾には港湾指定の港は幾つあるか。

企画課長 天願棧橋がある。

仲間議員 天願棧橋の湾港管理はどこか。

企画課長 在沖米軍が管理している。

仲間議員 今後、再編事業に伴う工事が行われる。地元業者へ情報がないまま工事が行われているが町として対策はないか。

企画課長 工事において防衛省が発注する分に関して町がその事務委託を受けて

町が発注する仕組みができないか防衛省と協議している。

仲間議員 金武町の業者を紹介することはできないか。

企画課長 防衛省に紹介しても指名という形ではなく公募から入札が一般的なため業者には情報を知らせていく。



移設に伴う工事が進むキャンプ・ハンセン



崎浜 秀幸 議員

米軍施設移設計画

崎浜議員 町民の間では自然や生活環境への影響など懸念の声が出ている。軍事訓練、事件・事故について町の考えは。

仲間一町長 町は事件・事故が発生した際には、防衛局等の関係機関への要請を行っており、町民の生命と財産、平和な暮らしを守る立場から提供施設外で居住する軍人・軍属の居住者の情報開示についても要請を行っている。

また、キャンプ・ハンセンに配属された新兵に対して、事件・事故の未然防止に努めるよう講話を行って

いる。

崎浜議員 移設による経済効果は。

町長 新たな雇用創出が見込まれる。町はこれまで労務管理機構等に地元優先雇用を積極的に働きかけており、在日米軍従業員への本町出身の雇用促進を図るため広報金武への募集案内の掲載による周知を行っている。

崎浜議員 基地を永久に背負うということは望ましいものではない。

今回の建物の耐用年数は50年と言われているが町は再度検討する余地がないか。

町長 50年耐用の施設になると思うが、一方でグアム移転というのもある。このグアム移転がどの時点でなされるかということも注視していかなければならない。将来的にグアム移転にどのような形で進んでいくかということを考えた時、見方

が変わってくるという考えもある。

大きな課題であるが一つ一つ解決できる行政としての役割を担っていきたい。



施設技術部地区

損害賠償事件

崎浜議員 ギンバルの医療施設の管理費などを求めた裁判の経過と今後の対応は。

町長 現在までに口頭弁論が2回と弁論準備手続が14回、計16回終了している。第13回以降は那覇地方裁判所名護支部から那覇地裁本庁に回付され、複数の裁判官のもと合議制による審理が継続されている。

裁判は現在も係争中であるが勝訴できるように取り組んでいく。

崎浜議員 当時、管理費を含め求めた金額についてはどの程度の額だったのか。

島袋博 保健福祉課長 訴訟の額は8572万2085円ということになっている。

崎浜議員 この額は妥当な金額か。

保健福祉課長 当時見積もりをしてその金額をはじめ

出しているので妥当な金額だと思っている。

崎浜議員 この裁判が進む中で町はどのような判断をされているのか。

池原均 副町長 町は勝訴できると考えている。

平成30年 第4回（6月）定例会

平成30年第4回定例会が6月12日（火）に招集され、15日（金）までの4日間の会期で開催された。一般質問は13名の議員が登壇した。

各会計の補正予算や条例改正などの議案が上程され審議を行った。議員から提案された「金武湾港海岸（ギンバル地区）海岸環境整備事業に係る要請決議」「金武町の振興発展と基地から派生する諸課題に関する意見書」は全会一致で可決した。

議決結果は下記のとおり。

平成 30 年 第 4 回（6 月）定例会 議決結果一覧

件 名	議決結果
平成30年度金武町一般会計補正予算（第1号） 歳入歳出それぞれ5億1,775万4,000円を追加し、補正後の予算総額を95億2,987万2,000円とするもの。補正の主なものは、歳入で土木費国庫補助金の2億6,903万7,000円の増、公共公用施設等整備基金繰入1億308万7,000円の増。歳出で道路新設改良費9,414万6,000円の増、住宅建設費の3億3,852万4,000円の増、公園費の2,124万3,000円の増。	原案可決 (全会一致)
金武町財政調整基金の処分について 道路新設改良費、公園費等へ7,552万5,000円以内を充当するもの。	原案可決 (全会一致)
平成30年度金武町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出それぞれ135万7,000円を減額し、総額18億7,374万4,000円とするもの。補正の主なものは、人事異動に伴う人件費の減額である。	原案可決 (全会一致)
平成30年度金武町下水道事業特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出それぞれ13万円を追加し、総額を3億9,598万6,000円とする。補正の主なものは、共済費負担金の負担率変更に伴う人件費の増である。	原案可決 (全会一致)
平成30年度金武町水道事業会計補正予算（第1号） 収益的支出の水道事業費用618万円を加え、4億7,904万7,000円とするもの。資本的支出の資本的支出2,200万円を加え2,618万1,000円とする。補正の主なものは収益的支出で人事異動に伴う人件費の増額。資本的支出は国道金武バイパス工事の中川地区配水管布設替工事、外1件の事業費によるもの。	原案可決 (全会一致)
金武町職員の再任用に関する条例の制定について 行政課題への的確な対応能力のある熟年労働者の知識と経験を活用できる体制を整えるため金武町職員の再任用に関する条例を制定するもの。	原案可決 (全会一致)
金武町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について 金武町職員の再任用に関する条例の制定に伴い再任用職員の給与等を定める必要があるため金武町職員の給与に関する条例の一部を改正するもの。	原案可決 (全会一致)
金武町職員の勤務時間、休暇に関する条例の一部を改正する条例について 金武町職員の再任用に関する条例の制定に伴い再任用職員の勤務時間、休暇等について定める必要があるため金武町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正するもの。	原案可決 (全会一致)
金武町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例について 金武町職員の再任用に関する条例の制定に伴い再任用職員の定年等について定める必要があるため金武町職員の定年等に関する条例の一部を改正するもの。	原案可決 (全会一致)

件 名	議決結果
財産の貸付について ギンバル訓練場跡地の町有地を医療・スポーツツーリズム、滞在型観光の推進、雇用の場の創出を図るため、町有地の貸付を30年間のうち10年間を無償で貸し付けるもの。	原案可決 (賛成多数)
工事請負契約締結について 件 名：並里・金武（第二期）地区農業集落排水資源循環施設建設工事（機械設備） 契約の相手方：共和化工（株）・（有）山川電工 建設工事共同企業体 契約金額：3億942万円	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について 件 名：伊芸地区畑地かんがい施設整備工事 契約の相手方：株式会社 ホカマ・（有）喜本産業 建設工事共同企業体 契約金額：1億7,468万8,400円	原案可決 (全会一致)
金武町道路線の認定について これまで農道として管理してきた道路を、生活用道路として機能しているため、道路法上の町道81号線として管理することが適切であるため道路法第8条第2項の規定により提案するもの。	原案可決 (全会一致)
金武町道路線の認定について これまで農道として管理してきた道路を、生活用道路として機能しているため、道路法上の町道82号線として管理することが適切であるため道路法第8条第2項の規定により提案するもの。	原案可決 (全会一致)
金武町道路線の変更について 町道屋嘉27号線については道路法第10条第3項の規定により提案するもの。	原案可決 (全会一致)
平成30年度金武町一般会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ261万7,000円を追加し、補正後の予算総額を95億2,987万2,000円とするもの。補正の主なものは歳入が基金繰入金の増、歳出が議会費の増。	原案可決 (全会一致)
金武町財政調整基金の処分について 議会費へ261万7,000円以内を充当するもの。	原案可決 (全会一致)
金武湾港海岸（ギンバル地区）海岸環境整備事業への御協力方について（お願い） ※詳細は17ページ	原案可決 (全会一致)
金武町の振興発展と基地から派生する諸課題に関する意見書 ※詳細は17ページ	原案可決 (全会一致)

金武町の振興発展と基地から 派生する諸課題に関する意見書

平成 25 年 4 月に公表された「沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画」において、嘉手納以南の施設区域の返還対象区域に所在する施設の移設先の一つとして、キャンプ・ハンセンへの移設が計画され、そのうち、キャンプ瑞慶覧の施設技術部地区の倉庫等の移設については、平成 26 年度に本町は受け入れを表明し、現在移設工事が行われている。

統合計画では、キャンプ瑞慶覧の施設技術部地区を含む、キャンプ瑞慶覧のインダストリアルコリドー、牧港補給地区の 3 地区から倉庫や整備工場等の移設が計画されており、そのキャンプ・ハンセンのマスタープランについて平成 30 年 5 月 11 日に日米合同委員会で合意された。

しかしながら、本町は町土の約 55% を米軍基地が占めており、米軍基地が町づくりや産業用地の確保等の支障となり地域振興及び開発推進の妨げとなっている。また、昼夜を問わず行われる米軍の飛行訓練及び軍事演習による騒音、山火事、米軍人・軍属による事件事故及び地域の生活環境に与える影響に地域住民は不安を感じているところであり、統合計画によるキャンプ・ハンセンへの施設の移設が、町民にさらなる基地負担を強いるものとなってはならない。

他方、統合計画における嘉手納以南の土地の返還は、沖縄県全体の基地負担の軽減及び経済振興に繋がるものであると思慮される。県内では、返還される基地の跡地利用による振興策に対し関心が集まっているが、同様に移設される施設の受け入れ先である本町も振興発展していかなければならない。

よって、金武町議会はキャンプ・ハンセンから派生する諸課題への具体的な対策の実施及び本町の振興発展のため、下記事項について速やかに実現されるよう強く要請し、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

記

- 1 金武町複合庁舎建設事業を実現すること
- 1 キャンプ・ハンセンから沖縄自動車道入口付近へのアクセス道路の新設を早期に実現すること
- 1 キャンプ・ハンセン内再編関連工事及び渋滞緩和対策工事への町内業者を優先活用すること
- 1 キャンプ・ハンセンにおける雇用は町民を優先すること
- 1 金武レッド・ビーチ訓練場を防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第 9 条第 1 項第 3 号の港湾に指定すること
- 1 国道 329 号の渋滞緩和を図ること
(うるま市から金武町区間国道 329 号 4 車線化)

平成 30 年 6 月 15 日
金 武 町 議 会

あて先 内閣官房長官 外務大臣 防衛大臣
沖縄及び北方対策担当大臣
沖縄防衛局長

金武湾港海岸（ギンバル地区） 海岸環境整備事業への ご協力方について（お願い）

謹啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素は本議会に、ご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本町では沖縄米軍基地所在市町村活性化特別事業の活用により、ギンバル訓練場跡にふるさとづくり整備事業と銘打って、「田園と海と川を活かしたウェルネスの里」をコンセプトに将来に向けた壮大な事業を推進しているところです。

当地には、すでに最新の放射線治療機器を備えた金武町地域医療施設（KIN 放射線治療・健診クリニック）をはじめ、ヘルスケアセンター（KIN スポーツ・整形クリニック）、フィッティングセンター（株式会社佐喜眞義肢）、海洋療法児童リハビリセンター（ぎんばるの海）、金武町フットボールセンター、金武町ベースボールスタジアムなどが整備され、今年度から温泉施設も着工にこぎつけています。

このエリアで目玉の五つ星ホテル（ヒルトンホテル）は、マレーシア国のデベロッパー トロピカーナ社と町で、約 800 億円の事業をはこるホテルやコンドミニウム等大がかりな施設が計画されています。ホテル完成後は、世界的なホテル経営で名高いヒルトン社とトロピカーナ社はすでに契約（平成 25 年 7 月 30 日）を交しており早期の完成が望まれています。

ホテル着工に関しては、ホテル東側に設置する浜辺のビーチ開発が条件とされており、町では平成 23 年 9 月 9 日にギンバル訓練場跡地海岸整備基本計画の策定業務をスタートさせています。

事業主体の沖縄県では、平成 28 年 9 月から平成 29 年 6 月にかけて、当ビーチの測量設計を終え、平成 29 年度予算に事業費約 5 億円、平成 30 年度予算に事業費約 4 億円を計上しています。現在当事業に関する諸々の手続きをほぼ終えています。貴組合の岩礁破碎の同意を待っているところでもあります。

この大型プロジェクトの推進に当たっては、ビーチは必須不可欠の条件であります。

沖縄県で計上された平成 29 年度予算約 5 億円の事業費については平成 30 年度へ繰越されていますが、この 6 月中に貴組合からの岩礁破碎の同意がとれない場合、確保されていた予算を流すことになり、今後の概算要求も極めて難しいこととなり、本町はもとより近隣の自治体も沖縄観光にも大きな痛手となります。

このような状況の懸念から本町議会では、町当局の苦悩を勘案し、この事業の現状を傍観できないことから全会一致で金武湾港海岸（ギンバル地区）海岸環境整備事業調査特別委員会を平成 30 年 5 月 1 日で設置しております。

これまで委員会では、町当局の進捗状況をみながら、議論を重ねてきましたが、事業のタイムリミットが 6 月中であることから事業そのものが剣ヶ峰に立たされており、町議会の総意をもって、貴組合にご理解ご協力をお願いする次第です。

どうか貴組合の岩礁破碎の同意について早急に取り組んでくださるよう衷心よりお願い申し上げます。

謹 呈

平成 30 年 6 月 13 日
金 武 町 議 会

あて先 宜野座村漁業協同組合組合長

米軍倉庫群等の移設に関して意見書を手交

日米両政府が合意している嘉手納より南の米軍施設統合計画で5月11日に公表されたマスタープランについて町長が受け入れを表明したことに伴い、6月定例会ではこの件に関する一般質問が相次いだ。金武町議会ではキャンプ・ハンセンへの移設により懸念される事項への対策や町の振興発展に関する要請事項をまとめた「金武町の振興発展と基地から派生する諸課題に関する意見書」(17ページ)を全会一致で可決した。

7月11日、総理大臣官邸に菅義偉官房長官を訪ね、嘉数義光議長が意見書を手交した。嘉数議長は要請項目のうち、現状でも伊芸区、屋嘉区の中学生の登校に支障をきたしている国道の渋滞解消について早期に対策をとるよう要請した。

これに対し菅官房長官は「政府としてはキャンプ・ハンセンへの移設により直接最も影響を受ける金武町の皆さんに対し、生活環境の保全や生活の向上を図る必要がある。ご要望はしっかりと受け止め、私が責任をもって対応する」と述べた。

内閣府、防衛省、外務省にも同様に意見書を手交した。



国道の渋滞状況を聴く(右から)菅義偉官房長官、島尻安伊子内閣府大臣補佐官



意見書を受け取る菅義偉官房長官(左)



防衛省 深山延暁地方協力局長(左)に意見書を手交

町村議会議長・副議長研修会

5月28日(月)、東京国際フォーラムで全国町村議会議長会主催の町村議会議長・副議長研修会が開催され嘉数義光議長と大城一之副議長が参加した。研修会では山梨学院大学大学院研究科長・法学部の江藤俊昭教授が「町村議会議員の議員報酬等のあり方 中間報告」と「町村議会のあり方に関する研究会報告書」と題して講演を行った。また、長崎県小値賀町議会議長と福岡県大刀洗町議会議長、徳島県那賀町議会議長、同町議会改革調査特別委員会委員長の4名が全国町村議会議長会から町村議会特別表彰を受けそれぞれ議会の運営について発表した。



江藤俊昭氏

北部市町村議会議長会視察研修

5月29日(火)から6月1日(金)までの日程で北部市町村議会議長会が青森県で視察研修を行い嘉数義光議長と上原浩事務局長が参加した。青森県では平均寿命を引き上げること为目标に「短命県脱出岩木健康増進プロジェクト」を立ち上げ認知症・生活習慣病などの早期発見を可能にし、10年後の理想とする社会の実現に向け取り組んでいる青木町の健診会場を視察した。



北部市町村議会議員・事務局職員研修会

7月5日(木)、大宜味村農村環境改善センターにおいて北部市町村議会議員・事務局職員研修会が開催された。研修会ではNPO法人やんばる舎理事長の市田則孝氏が「世界自然遺産とやんばるの未来」と題して講演した。その中で動植物の生息種が全国でも一番多く、やんばるは東洋のガラパゴスであるが米軍の実弾演習による自然破壊やヤンバルクイナ等やんばる固有の生物を絶滅の危機から守るための生息地保全活動や地元小学校で野鳥観察の実施などの大切さを述べた。

講演終了後には、スポーツレク大会と交流会が開催された。



市田則孝氏

町村議会正副議長・正副委員長研修会

7月24日(火)、ちやたんニライセンターにおいて町村議会正副議長・正副委員長研修会が開催された。研修会では琉球大学名誉教授の石川友紀氏が「沖縄移民100年の歴史」と題してこれまでの移民の定義や県出身の移民の経緯、移住先、移民の効果等についての説明があった。また、政治評論家の有馬晴海氏が「舞台裏から見た政治とこれからの政局展望」と題して講演した。その中で2020年の東京オリンピックを境にスーパーやコンビニでの買い物で現金を用いない「キャッシュレス化」が進み決済の仕組みが大きく変わると話した。



有馬晴海氏



石川友紀氏

埼玉県議会がフットボールセンターを視察

金武町議会は8月21日(火)、埼玉県議会の人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会の「サッカーの振興について」の研修を受け入れた。社会教育課の担当者からフットボールセンターの概要、これまでの利用実績、キャンプ誘致などについて説明した。



傍 聴 案 内

議会を傍聴してみませんか。9月定例会は、9月12日(水)開会を予定しております。日程が決まり次第、有線放送やホームページでお知らせいたします。詳細については、議会事務局へお問い合わせください。

金武町議会事務局 有線電話：8-2292 N T T：098-968-2292